

# 子どものやる気についてお話しします。

大きな木のあるお医者さん こころ・チャイルド・クリニック

## ●はじめに

子どもが落ち込んでいる時、前へ進む意欲がわかない時、親はどうしたらよいでしょうか。子どものやる気について、考えてみましょう。

## ●スマールステップで

やる気を起こすためには、好きになると出でてくるきっかけが大切です。子どもの好きなことを体験させながら「知りたい」という気持ちを刺激します。「やればできる」という自信が、やる気につながります。頑張れば達成できるような目標を設定し、達成すれば「よく頑張った」と一緒に喜びます。スマールステップでできることが小さなことから、実行していくままに、人の役に立つ喜び、人の幸せに貢献できる満足感があると、やる気が倍増しますね。

## ●子どもをほめるには

ほのぼのとして、①「すう」「さすが」とほめる、②ありがとう、うれしいと感謝の気持ちを伝える、③何がよかつたか具体的にほめる、の三つがあげられ

ます。心に響くように、子どもに合った

ほめ方をする必要があります。誰もが「能力」だけでなく、「性格の強み」を持っています。ほめるときにも、子ども自身の強みを伝えるようにすると、自己肯定感を高めることができます。

## ●勇気づけること

「ほめる」場合、親が子どもの上に立つ縦の関係で、達成した結果を評価する言葉になります。「勇気づけ」では、尊敬信頼の気持ちで関わる横の関係で、自信とやる気を引き出す効果が上がります。勇気づけのためには、できるだけ正面を向いて、結果ではなく挑戦した姿勢や過程に注目します。うれしい、助かる、ありがとう、応援しているよ、という気持ちを「メッセージ」で伝えるようにします。

## ●ネガティブ感情を手放す

ネガティブな感情から抜け出すには、物事のどちら方を外に取り出し、客観的に見つめるようにしてみます。「子どもの心を強くする すごい声かけ」の著者・足立啓美さんは、ネガティ

ブなどうえ方を7つに分類し、7羽のネガティブオウムというキャラクターに例えています。非難、あきらめ、心配、正義、無関心、罪悪感、敗北者の7つのネガティブオウムが、肩に乗って繰り返し話しかけていたら、ネガティブ沼にはまってしまいます。親子でネガティブオウムを見つけ出し、別の視点からのうえ方を探しゆがんだうえ方をわっていきます。

## ●おわりに

よじごじろも悪いところも、あるがままの自分を好きになれるように、親が子どものすべてを愛するとき、子どもの自己肯定感が育ち、自信とやる気も出てきます。幼少時期には、肉体的、精神的不快を快に変えるヘルプを充分に与えます。子どもの成長とともに子どもの力を信じて見守り、自立のためのサポートをしていきましょう。



野村 真二院長

平成22年9月に小児科開業、平成23年4月に病児保育室を開設。未熟児新生児医療の経験を生かして、心をこめて診療、子育て支援を行っています。



こころ・チャイルド・クリニック  
Cocoro child clinic

4階の病児保育室ちゅんちゅんもご利用下さい  
お問い合わせは tel.082-848-6619まで

●診療日・時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	△

14:00~15:00に乳児健診、予防接種を行っています  
△17:00まで 【休診日】日曜・祝日



DATA

広島市安佐南区伴南1丁目18-301  
西風新都ゆめビル

tel.082-849-5519

ACCESS

広電バス「こころ産業団地」「こころ西公園」行き  
「こころ入り口」下車



ゆめビル3階  
こころチャイルドクリニック

